このページは全員記入必須

【用紙②】収入計算書（2023年度入学者用（大学院予約））

記入例等

前年用（表）

収入計算書[前年（2021 年 1 月～ 12 月）用]

私は、日本学生支援機構の奨学金を申し込むにあたり、前年の収入に関する状況は以下のとおりであることを報告します。また、この収入計算書に基づき奨学金の申込み（「スカラネット」への入力）を行うとともに収入にかかる証明書を裏面に貼付（父母等からの給付額がある場合は裏面に記載）いたします。

→ ○進学予定学校名 **九州工業** 大学 **情報工学府** 研究科

→ ○進学予定課程（該当の数字に○）：

当てはまるもの

1. 修士・博士前期課程／専門職大学院課程（法科大学院を除く）
2. 博士後期課程
3. 博士医・歯・薬（４年制）・獣医学課程
4. 法科大学院

→ ○申込者氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ○学籍番号＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

学生本人の収入額のみです。
証明書類は「源泉徴収票」がなければ2021年1月－12月分の給与明細、又は給与振込のある通帳のコピーを添付してください。詳しくは、「大学院　予約採用貸与奨学金案内」22－25ページをご覧ください。

［各項目１万円未満切捨て］

前年(2021年1月～ 12月)の収入額		
	収入項目	収入額（A）
定職（◎）	定職（本人）	（年額） 万円
	定職（配偶者）［該当者のみ］	（年額） 万円
アルバイト（◎）	アルバイト１	（年額） 万円
	アルバイト２	（年額） 万円
	アルバイト３	（年額） 万円
父母等からの給付額（★）		（年額） 万円
奨学金		（年額） 万円
・その他の収入（利子・配当・不動産・年金等の公的手当・預貯金の取崩し等）		（年額） 万円
収入額合計（※）		（年額） 万円

［記入時の注意事項］
◎複数あるために欄が不足する場合は、合計額を記入（アルバイトは１・２に記入後、３に残りをまとめて記入）。ただし、証明書類は全て提出してください。

「父母からの給付額」は４枚目の前年用裏に記入し、学生ではなく父母等の署名が必要です。

★計上する場合、前年用裏面に月別内訳を可能な限り記入してください。また、父母等給付者の自署が必要です。
奨学金の証明は月額が分かるもので可。

［重要］
収入額合計は、０万円とならないよう記入してください。

※2023年1月～2月に申し込む場合でも「前年」は2021年となります。

［裏面に収入欄に記入した収入証明書を貼付］

２０２１年、２０２２年も学生の場合は、上部に「○」を受けることをお勧めします。

記入例等

【用紙②】収入計算書（2023年度入学者用（大学院予約））

本年見込用（表）

変動ある場合のみ

本用紙は、「A3 サイズ 1 枚」により構成されています。前年（左面）の収入と本年（右面）の収入が変動しない場合、「本年」の記入は不要です。

収入計算書[本年見込（2022 年 1 月～12 月）用]

私は、日本学生支援機構の奨学金を申し込むにあたり、本年の収入に関する状況は以下のとおりであることを報告します。また、この収入計算書に基づき奨学金の申込み（「スカラネット」への入力）を行うとともに収入にかかる証明書（但し前年の収入から変動のある証明書のみ）を裏面に貼付（父母等からの給付額がある場合は裏面に記載）いたします。

【収入の状況】（以下の該当する方に、「○」を付けてください。）

○	本年見込の収入については、前年の収入金額に対して、変動はありません。	➡	このページは記入不要。
	本年見込の収入については、前年の収入金額に対して、変動しますので、以下のとおり報告します。	➡	両ページの各項目を全て記入（前年と変動のない同じ項目も同じ金額を記入）。

[各項目 1 万円未満切捨て]

本年（2022年1月～ 12月）の収入見込額		
	収入項目	収入額（B）
定職（◎）	定職（本人）	（年額） 万円
	定職（配偶者）[該当者のみ]	（年額） 万円
アルバイト（◎）	アルバイト 1	（年額） 万円
	アルバイト 2	（年額） 万円
	アルバイト 3	（年額） 万円
父母等からの給付額（★）		（年額） 万円
奨学金（申込中の奨学金は除く）		（年額） 万円
・その他の収入（利子・配当・不動産・年金等の公的手当・預貯金の取崩し等）		（年額） 万円
収入見込額 合計（※）		（年額） 万円

収入の若干のゆらぎについては変動に含みません。
変動したとは、別の勤務先に変わったり、アルバイトの数が変更になった場合を指します。

[記入時の注意事項]
◎複数あるために欄が不足する場合は、合計額を記入（アルバイトは 1・2 に記入後、3 に残りをまとめて記入）。ただし、証明書類は全て提出してください。

下部に「○」をつける場合はアルバイト先等の勤務先に２０２２年１２月分までの収入の見込みの証明をもらってください。

★計上する場合、本年見込用裏面に月別内訳を可能な限り記入してください。また、父母等給付者の自署が必要です。

[重要]
収入額合計は、0 万円とならないよう記入してください。

⚠ **本年収入見込額を「0 円」とすると、前年の収入額合計で審査されます。**

※2023年1月～2月に申し込む場合でも「本年」は2022年となります。

[裏面に前年の収入から変動のある証明書のみ貼付]

本年見込の収入について、前年と変動しない場合、この面の記入は必要ありません。

本年見込用（裏）

証明書類貼付欄 〔前年の収入から変動がある証明書のみ貼付〕

・証明書類は、この欄に本紙と上下の向きをそろえて、ホチキスで上部 2 点を留めてください。
・収入年額の推算が必要な場合は、下部スペースに計算式を記入し、推算した年額を表面記入欄に記入してください。

学校指定の様式がある場合は、そちらに貼付してください。

その場合、本用紙への貼付は不要です。

書類の提出方法については、学校の指示に従ってください。

提出する場合は、
２０２２年１月－１２月までの給与の見込みの証明をもらってください。

★父母等からの給付額について

表面の申込者本人が日本学生支援機構の奨学金を申し込むにあたり、当該者本人への給付額については、以下のとおりであることに相違ありません。

○給付者（父母等）氏名【自署】＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　○申込者との関係（続柄）＿＿＿＿

［千円単位：合計欄のみ 1 万円未満切捨て］

（2022年）

1 月	千円	8 月	千円
2 月		9 月	
3 月		10 月	
4 月		11 月	
5 月		12 月	
6 月		合計	万円
7 月			

［月別に記入できない場合は、年額のみを合計欄に記入してください。］

前年用と本年見込用は表面の位置とは反対になっておりますのでご注意ください。

前年用（裏）

証明書類貼付欄 〔収入に関する証明書のみ貼付〕

・証明書類は、この欄に本紙と上下の向きをそろえて、ホチキスで上部 2 点を留めてください。

学校指定の様式がある場合は、そちらに貼付してください。
その場合、本用紙への貼付は不要です。
書類の提出方法については、学校の指示に従ってください。

貼り付けず、添付しても可。

★父母等からの給付額について

表面の申込者本人が日本学生支援機構の奨学金を申し込むにあたり、当該者本人への給付額については、以下のとおりであることに相違ありません。

○給付者（父母等）氏名【自署】＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　○申込者との関係（続柄）＿＿＿＿

［千円単位：合計欄のみ 1 万円未満切捨て］

(2021年)

1 月	千円	8 月	千円
2 月		9 月	
3 月		10 月	
4 月		11 月	
5 月		12 月	
6 月		合計	万円
7 月			

・授業料を父母が等が払っていれば記入してください。
・単位に気を付けてください。

［月別に記入できない場合は、年額のみを合計欄に記入してください。］